

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年9月30日（火）

2 確認箇所

- ・ブルーデッキ（図1）
- ・K4タンクエリア（図1）
- ・グリーンデッキ（図1）
- ・固体廃棄物貯蔵庫第10棟（図1）
- ・覆土式一時保管施設（瓦礫類一時保管エリアL）（図1）
- ・瓦礫類一時保管エリアN（図1）

3 確認項目

令和7年度第1回福島県原子力発電所安全確保技術検討会による現地調査

4 確認結果の概要

「令和7年度第1回福島県原子力発電所安全確保技術検討会」による現地調査に同行した。専門委員、関係自治体とともに、ブルーデッキでは1～4号機の状況、K4タンクエリアではALPS処理水測定・確認用タンクの状況、グリーンデッキからはALPS処理水の希釈放出設備の状況、固体廃棄物貯蔵庫第10棟では廃棄物保管の状況、瓦礫類一時保管エリアLでは瓦礫類の取り出し状況及び瓦礫類一時保管エリアNでは汚染土壌の運び出しの状況を確認した。（前回確認：令和5年7月11日（令和5年度第3回福島県原子力発電所安全確保技術検討会現地調査））

（1）ブルーデッキ

- ・1～4号機の現在の状態及び燃料の保管状況並びに汚染水対策の状況について説明を受けた。
- ・1号機大型カバー設置工事について説明を受け、上部架構は設置完了していること、ボックスリングは西側以外設置完了していることを確認した。（写真1）
- ・専門委員等からは、2号機からの使用済燃料の取り出し方法及びボックスリングの設置状況について質疑応答が行われた。

（2）K4タンクエリア

- ・K4タンクエリアに設置されているALPS処理水測定・確認用タンクの運用状況について説明を受けた。（写真2）
- ・K4タンクエリアには35基のタンクが設置されており、10基ごとにA群、B群及びC群に分けてALPS処理水を保管しており、タンク群ごとに受入、測定・確認、放出の工程でALPS処理水の放出を実施しているとの説明を受けた。

- ・専門委員等からは、ALPS処理時の吸着材及び活性炭の保管状況及びALPS処理水の分析から放出までの所要時間について質疑応答が行われた。

(3) グリーンデッキ

- ・K4タンクエリアから移送されたALPS処理水が海洋放出されるまでの流れについて説明を受け、グリーンデッキから希釈放出設備を確認した。(写真3)
- ・専門委員等からは、ALPS処理水の放出方針及び津波発生時の対応について質疑応答が行われた。

(4) 固体廃棄物貯蔵庫第10棟

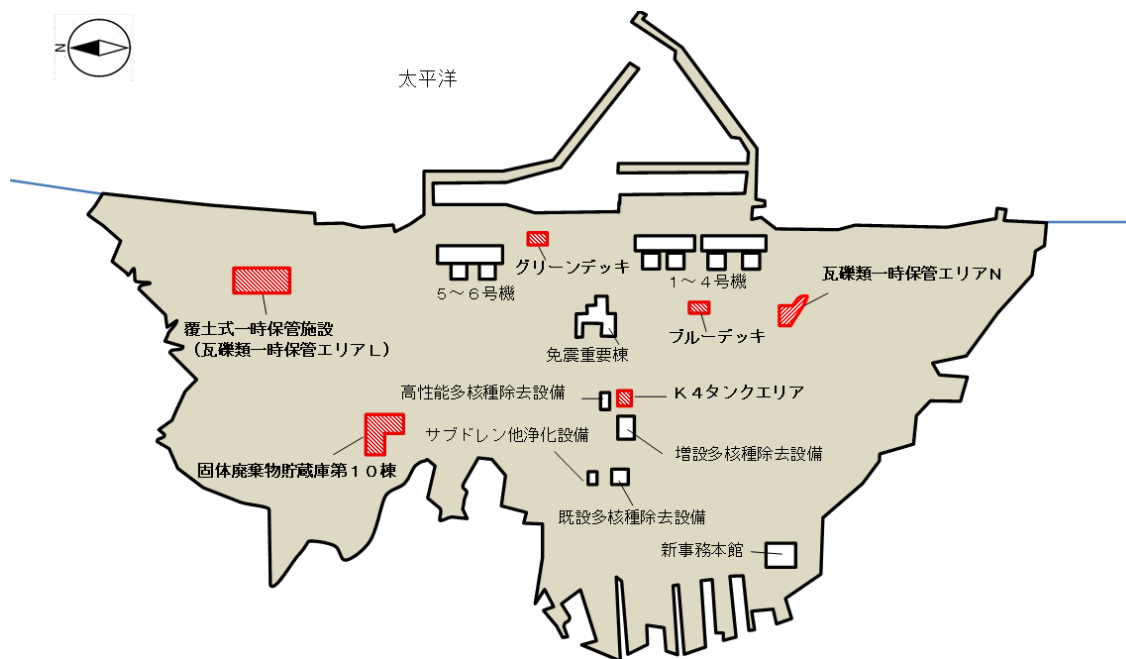
- ・固体廃棄物貯蔵庫第10—B棟において、福島第一原子力発電所で発生する廃棄物の処分方法について説明を受けた。(写真4)
- ・第10棟に保管される廃棄物は線量の高いコンテナを中心部に配置し、かつ、敷地境界に近い建屋西側にコンクリートの壁を設置することで放射線の遮蔽対策を実施しているとの説明を受けた。(写真5)
- ・専門委員等からは、第10棟に収容する廃棄物の種類や保管方法及び地震対策の状況について質疑応答が行われた。

(5) 瓦礫類一時保管エリアL

- ・瓦礫類が保管されている保管槽全体を覆う形で設置された仮設ハウスにおいて、瓦礫類の取り出し作業の状況を確認した。(写真6)
- ・保管されている瓦礫類は線量が高いことから、遠隔により重機を操作し、瓦礫類の取り出し作業を実施していることを確認した。(写真7)

(6) 瓦礫類一時保管エリアN

- ・瓦礫類一時保管エリアNに保管されている汚染土壌について説明を受けた。(写真8)
- ・汚染土壌はコンテナに保管されており、エリア内に340基ほど保管されていることを確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
ブルーデッキからの各号機の確認状況
※写真は1号機



(写真2)
K4タンクエリアでのALPS処理
水測定・確認用タンクの設置状況の
確認



(写真3)
グリーンデッキにおけるALPS処理
水の希釈放出設備の確認



(写真4)
固体廃棄物貯蔵庫第10—B棟におけ
る廃棄物保管の確認



(写真5)
固体廃棄物貯蔵庫第10—B棟の保管
状況



(写真6)
仮設ハウスの状況
※内部で瓦礫類の取り出し作業が行わ
れている。



(写真7)
遠隔による重機の操作状況
※作業員はモニターを見ながら重機を
操作している。



(写真 8)
瓦礫類一時保管エリア N における廃
棄物の保管状況の確認

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。